

# 留学体験レポート

21016119 山口菜々子

私は4ヶ月間慶熙大学に留学し、様々な貴重な体験をしました。私自身は海外に行くこと自体が初めてで、最初は戸惑うことばかりでした。韓国語の能力が周りより低く、このような状態で韓国に行って現地の人とコミュニケーションが取れるかとても不安でした。最初は全くコミュニケーションが取れずとても辛い時期がありました。しかし、生活していくうちに聞き慣れない韓国語が飛び交う生活に慣れて来ました。外国人ばかりのクラスでも、毎日通ううちに慣れ、コミュニケーションがとれるほどになりました。韓国生活の中で印象に残っていることをいくつかまとめて行きます。

最初に食事についてです。韓国の食べ物は辛いものが多いです。私は辛いものが好きなので韓国で生活できてとても嬉しかったです。しかし、あまり食べすぎるとお腹が緩くなってしまうので気をつけたほうがいいです。留学中はほとんど外食をしていました。韓国には安くて美味しい食べ物屋さんが多く、様々な食べ物を食べることができました。韓国の料理の中でも一番好きなものはポッサムというものです。茹でた豚肉と浅漬けのキムチと一緒に食べます。どんなお店に行ってもキムチはほとんど出て来ます。その中でもポッサム屋さんの浅漬けのキムチがとても好きでした。留学の最後の方でどうしても食べたかったユッケを食べることができてとても美味しくいい思い出になりました。

次に授業についてです。私は韓国語ができなくて、最初の方は新潟国際情報大学の生徒だけのクラスだったので周りに聞くことができ、なんとか授業を受けていました。しかし、外国人ばかりのクラスになり、日本語で聞くことができず予習がとても大事になりました。なるべく予習をして授業を受けていくうちに少しずつ先生が何を言っているのか簡単に聞き取れるようになり、クラスの外国人ともコミュニケーションを取れるようになりました。徐々に自分の意見も韓国語にできるようになり、毎日の授業が楽しくなりました。この外国人ばかりのクラスで行った雪岳山はクラスの仲が良くなるいい機会でした。クラスごとにチームを作ってレクリエーションを楽しんだり、みんなで輪になってお菓子を食べたりして仲良くなることができました。

何よりも、ずっと一緒にいたのは国際情報大学の友達です。留学したばかりは生活についてわからないことが多く、助け合いながら生活をして来ました。同じ大学から来た仲間がいたからこそ楽しく留学生活を送ることができたのではないかと考えます。授業でわからなかったところを教えあいながら切磋琢磨して成長することができました。

留学生活で大変なことが多く帰りたいと思うことも多かったのですが、一緒に行った国際情報大学の友達達や、日本で待っている家族に支えられて最後まで頑張ることができました。韓国で生活することで、語学力が上達し、貴重な体験ができてとても良かったです。